

麻 酔 科

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 全身麻酔管理を通して、呼吸・循環・体液管理に関する基本的手技と知識を学ぶ。
- 3) 手術・麻酔・手術室看護師チームの一員として、手術・麻酔チームに必要なコミュニケーション技能を身につけ、チームメンバーとして良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 4) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 5) 実際の医療に接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 周術期の患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 患者および家族情報、術前検査から麻酔診療に必要な情報を収集し、術前の患者状態を把握することができる。術前の身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 3) 麻酔器の構造を理解し、始業点検を実施できる。
- 4) 全身麻酔管理に必要な、気道確保、人工呼吸など呼吸管理の基礎を理解し、適切なサイズの気管挿管チューブを選択し、呼吸管理の一部を実践できる。
- 5) 全身麻酔に必要な、循環・体液管理に関する基本的手技（輸液と昇圧薬などの使用）を理解し、指示に従って実践できる。
- 6) 手術室内で適切な標準感染防御策（スタンダードプレコーション）を行うことができる。
- 7) 手術侵襲に伴う自律神経系および内分泌系の変化、炎症性の身体反応について説明できる。
- 8) 急性痛の発生メカニズムと手術に伴う急性痛のコントロールについて理解し説明できる。
- 9) 手術医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明できる。
- 10) 手術・麻酔チームの一員として、手術・麻酔チームに必要なコミュニケーション技能を身につけ、チームメンバーとして良好な対人関係を築くことができる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。また手術部内では、所定の術衣に着替え、指定された帽子（ピンク）とマスク、必要時手袋を装着すること。

- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、指導医の下に麻酔診療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、術前サマリー、麻酔計画、麻酔記録などは、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。
- 4) 術前診察に立ち会う際には、あらかじめ電子カルテを参照するなどして、患者の術前状態を把握し簡潔に指導医に説明すること。また、朝のカンファレンスでは指定された患者について、既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
7:30	麻酔準備（麻酔器セットアップ・呼吸管理／麻酔関連薬剤準備）				
7:50 ～ 8:20	ケースカンファレンス				
8:30 ～ 12:00	麻酔（術前診察）				
12:00 ～ 17:15	麻酔		14:00～ ペインクリニック	麻酔	
17:15 ～ 18:00	研修医 術前、術後回診				16:00～ 研修医勉強会 実技トレーニング（随時）

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
ポートフォリオの内容	20点
部長試問	20点

【実習指導医】

指導責任者 森脇克行（副院長・中央手術部長・臨床研修指導医）

副指導責任者 橋本 賢（麻酔科科長），城山和久（麻酔科医長）

実地指導者（日本麻酔科学会麻酔指導医）

藤井聖士，讃岐美佳子，栗田茂顕，杉本由紀，石橋 優和

【参考図書、文献】

- 1) 標準麻酔科学 第6版 医学書院
- 2) 日本麻酔科学会 指針ガイドライン (<http://www.anesth.or.jp/guide/>)
- 3) American Society of Anesthesiologists: Standards & Guidelines (<http://www.asahq.org/quality-and-practice-management/standards-and-guidelines>)